

著名な講師が基本から最前線の動向まで体系的に解説

ゴム・エラストマー押出加工技術のポイント・最新動向

日時
2017年 5月26日 (金)
10:30 ~ 16:30

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円
案内図

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

押出加工は、タイヤ、ベルト、シート、ホース、ケーブル等のゴム工業において広く利用されている重要な基本技術です。生産性や品質を向上するための技術開発も活発に行われており、押出方式、スクリュウ構造、計装設備、省エネ、自動化等広範囲にわたって進展がみられます。また、混練技術と成形加工技術の関連が重要な課題として存在しています。本講座では、ゴム・エラストマー押出加工技術の基本、ゴム・エラストマー材料の配合設計、連続加硫技術等のポイントについて総合的に解説します。さらなる生産性の向上、或いは成形品質の向上をめざす方々にとって有意義な内容です。業務に役立つ「押出加工Q&A」の資料が付きます。



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師 西澤技術研究所 代表 西澤 仁 氏
日本ゴム協会 技術委員会 幹事、 難燃材料研究会 顧問

内容

- ・ゴム材料の適性加工性指標
- 1. 粘性流動特性 2. 圧力損失 3. 応力緩和(グリーン強度)
- 4. スコーチ、加硫特性、加硫戻り 5. 可視化技術
- 押出加工に適した混合技術
- 1. 混練の基本技術と課題 2. 混練設備の進歩
- 3. 混練と加工性との関係を評価する指標
- 4. 加工性を向上する混練技術
- 5. 加工性に影響する混練技術の課題
- ・押出加工設備の進歩
- 1. 押出機、ライン(真空押出、ギヤーポンプ、CTM、連続加硫)
- 2. スクリュー構造(バリヤー、ミキシング、その他新規構造)
- 3. ヘッド、ダイ、ニップル 4. 連続加硫
- ・押出加工技術の実際技術
- 1. 温度、圧力、線速等基本加工条件
- 2. 押出加工における各種トラブルと対策
- ・脈動、フローライン、ヤケ、メルトフラクチャー、目やに、ブルーム、ブリード
- 3. 高温高速加硫におけるトラブル対策 ・加硫戻り、特性低下、ヤケ
- ・押出加工に適した配合設計
- 1. 押出加工に適したゴム特性 2. 流動性向上
- 3. 熱劣化防止(加工熱安定剤) 4. 適性加硫系 5. スコーチ防止
- ・連続加硫技術
- ・押出加工技術の今後 ・ゴム材料、設備
- ・押出加工のQ&A 質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ゴム・エラストマー押出加工技術のポイント・最新動向

セミナーコード

1101-170526

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/5/26 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				